LP.SP.EP レコードと楽器 安まる！ 天地堂 平・本町通り TEL 589

パンは東京堂 平・サイッチ小路 電一一〇八

三和新報

THE SANWASHIMPO

第336號（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

日刊（日曜・祝・祭日を除く） 購読料 1カ月 50円

6月7日（火曜日）

発行所 三和新報社 平市六丁目 電472番

内科・小兒科 蓬來医院 平市新川町12・電1031

妻子を殺して來た？ サメ川投身自殺男

六日午前十時ごろ勿来市植田町岩間地内の鮫川（川口より五百米）で丼才位の男の水死体が発見された。勿来署で調べた結果、身許は東京都練馬区上石神井一ノ六九三無職大沢光好さん(三)で、五日夕刻川口で砂利採取中の同字鷲大蔵君(さ)に「勿来の知人をたずねてきた。向う岸まで渡してくれ」と頼んで、舟で対岸に渡つており、そのとき手を引いていた長女クミ子ちゃん(六)も一緒に入水したものとみられ、勿来署で捜しているが七日正午現在まだ発見されない大沢さんは妻子を殺して家出してきたというウワサもあり同署で調べている。

スリ現行犯

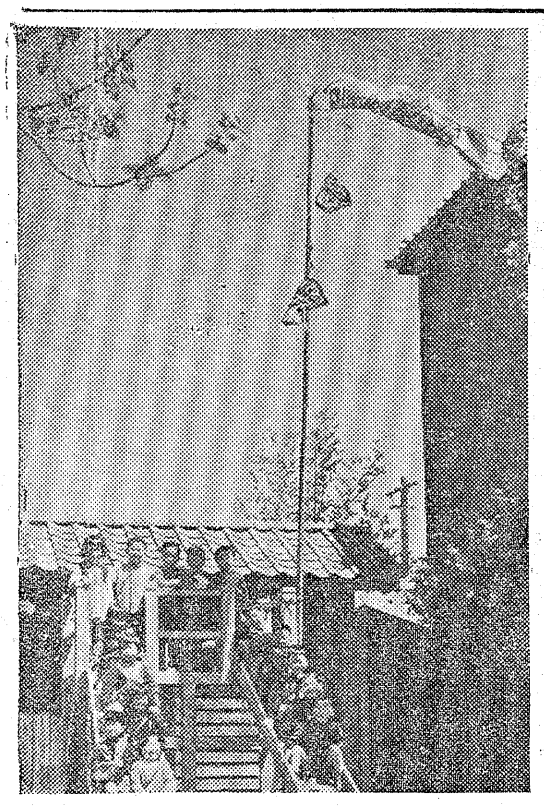
平署では六日午後三時二十分ごろ平市中町無職細谷政(四〇)をスリ現行犯でつかまえた。細谷は平市十五丁目競輪場外売場で好間村上好間大工坂本常義さん(六二)のズボン右ポケットから現金四千円をかつぱらい逃走しようとしたところをつかまつたもの。

大昭、操業を始む

電気料の滞納で捲上機用の送電をとめられ休業していた勿来市の大昭炭鉱（従業員四百名）は電気料八十萬円を内払いして送電してもらうように話がつき六日から操業を再開した。ヤマは二十日ぶりに捲上機がまわり坑内から運び出されてくる石炭を見つめる人々の喜びは大きい。池田社長が二百萬円をつくり八十萬円を電気料に払い残りで坑木や主食類を買い入れたもので現在のところクビ切りは一名も出ていない。

大東炭鉱も

遠野町上遠野字滝大東炭鉱（従業員百二十名）ではさる二十五日保安要員五名を残して全員を整理、休山していたが五日従業員代表が上京して経営者の池口光之助氏と再開を交渉した結果 経営者を変えて二、三日中に再開する見通し



端午の節句近づく

九人の家族を捨て

呑ン兵衛父ちゃん何処へ行った

捜して頂戴と涙の訴え

女房と九人の子供を抱えながら生活苦と酒飲みたさに家出。木賃宿に泊つて家族をほつたらかしておく呑ン兵衛オヤジがいる。

平市古鍛冶町終行商大平清さん(四七)は〝呑ン兵衛の清さん〟といわれるほどの酒好きで金が入るとチビリチビリとやつていたが最近商売がうまくいかないところに妻のハナヨさん(四七)が病気で倒れてしまい食いざかりの子供九人を抱えて生活費にもことかいてきたのでこれでは酒が飲めなくなると先月の十五日家出、中間町や湯本の旅館に泊つて売上金で酒を飲んでいる仕末にハナヨさんは一家干乾になつてしまうと六日平署を訪れ〝父ちゃんを探して帰えるようにしてください〟と泣きこんだ。

総合開発の打診

専門家十日から視察

県総合開発専門委員岡野都多治、北松友義（東北電力監査役）濱崎平馬（日大第二工学部講師）の三氏は十日来平、十一日まで常磐炭鉱、小名浜港、日本水素、日本製塩、呉羽化学、呉羽化成、勿来市火力発電建設受入地点などを視察し、常磐総合開発全般、平、内郷常磐三市の発展施策、低品位炭活用火力発電ガス化、小名浜港を中心とする産業開発、コツバース炉建設による次期新興産業、製塩工場拡張による技術的政治的検討、工場用地と用水の確保、勿来市の今後の産業開発、火力発電所の受入対策などについて調査し、十一日午後帰福する。視察には関係市町村代表が立合い実情を説明する。

PTA一本化

組織的運動に乗出す

石城郡連合PTA総会は六日平市公会堂日本間でひらき、郡（勿来常磐、内郷を含む）と平、磐城両連合PTAを一本化することに決め、一本化推進委員を郡部から四名、平、磐城両市からおのおの二名選ぶことになつた。一本化の時期は七月上旬を目標とし、郡連P会長金成源右衛門氏（錦小PTA会長）が世話役となる。このため磐城市連合PTAは同日発展的解消を申し合せた。郡市のPTAが一本化すれば、外部に対して組織的運動ができるのが、大きな強味である。

舞子の浜 早くも貸ボート

このところ平地方はめつきり暑くなり〝夏来る〟というところだが平市草野観光協会では新舞子の貸ボートの整備に大童、今年は去年より十せき多い三十せきを浮べて涼客を誘う計画、近く船着場も完成するので七月一日からはじまる予定である。

女の首なし死体

六日午後三時ころ久の浜町末続沖合二百米の海上に女の首なし死体が浮んでいるのを操業中の同町東町漁夫遠藤実さん(三五)が見つけ久の浜港に引きあげた。年令不詳で紺のセーター、丸首シャツ、黒スカートが特徴、死後二週間ぐらい経過している。

会長に工藤氏

好間連合防犯協会

好間村連合防犯協会ではこのほど総会を開き三十年度の夏期不良化防止運動として八月中に同村中学校で少年野球、少女バレーボール大会を開く、また校外補導を強化して十一月には社会環境改善方部別座談会を開くことを決めた。新役員は次の通り。

▽会長工藤隆之（古河炭鉱）▽副会長長谷川平八郎（農業）三村増吉（古河炭鉱）柳沼久雄（小田炭鉱）

未拂賃金 四千六百万円

デフレの波にもまれて平地方の中小企業は未払賃金がウナギ上りになり四月末現在で四千七百十八萬一千三百六十一円、五月は四十一件一千百七十九萬九百十二円計五千八百九十七萬二千二百七十三円に達している。このうち五月中に一千三百十三萬八百四十八円は解決したが現在四千五百七十八萬七千六百五十四円も残つており特に夏枯れを迎えた炭鉱がひどく全体の九十八%四千五百十八萬円が未解決でこんごますます深刻になるものと予想されヤマは文字通りドン底の生活におびやかされている

豊間港改修

工費3000万

豊間港の改修工事は去る二十六年以来県営で着々進めてきたが平市では今年度の第一期工事（工費三千萬円）計画をこのほどつくりあげ建設省に陳情することになつた計画によれば荷揚場三十米を拡張するほか護岸四十六米拡張、船揚場巾十五米新設、泊地岩盤千五百立方米の掘さく、五千平方米の埋立盛土、防波堤四十米拡張、航路岩盤三千立方米の開さくなどを行うことになつており、これが出来上ると港の水深は三・五米となり近い都市への移出港として百数十トンの運搬船と漁船が入港できることになる。なお四倉、江名両漁港の改修についても近く工事計画案が建設省に提出される。

平商店街を視察

福島商店会代表ら卅名

福島市商店会代表三十名は七日午後来平、市内の商店街や工場、観光地を視察した。

夏期手当一月分を要求

平市役所職組

平市役所職組（委員長丹野由雄氏）では五日、夏期手当一カ月分支給と給与の凸凹調整を早急に是正するよう要求、諸橋市長は研究の上適当な処置をとると回答した。

銀座店 割烈化粧品は天明 二丁目店

安逸月 舞踊研究所 平市南町 電三〇四

印刷 祖國 長運動靴 地下足袋 靴 本店 袋屋

柳川鍋 蒲焼 寿司の 江戸川 紅小路店 電一四五六 才槌小路店 電一〇二一

書籍と文房具 ヤマニ書房 平駅前 電七七七

内科 胃腸科 呼吸器科 院長 松村八十亭
外科 整形外科 横山八十仁
婦人科 性病科 岡崎英彦
歯科 松田勇成
放射線科 吉田亨
臨床検査部 佐藤政之助
薬局 薬剤師 志賀政治 蛭田道男 佐藤吉雄 新妻春次 吉田みさほ
財団法人 磐城済世会（平市南町三二大通り）
松村病院 電（平）一〇七番（受付）一八九二番（事務）一六九六番（第二病室）

平名物 若ひな鳥料理 ヤニ屋 平市中央通り TEL 886・1750

精神科 内科 神経科 新田目病院 院長 新田目五郎 平市才槌小路二四 電話十五番

失対のワク三百
〝失業の街〟勿来に福音

夏枯れを迎えた中小炭鉱のクビ切りで〝失業者のマチ〟と化した勿来市に一般失対事業の就労ワクが三百ふやされることになつた。これは去る二日以来県と労働省の間をとびまわつて苦境を訴えた古川市長と鷲県議の陳情が功を奏したもので、これで勿来市の就労ワクは七百六十八から千六十八にふくれ上つたが、まだ九百五十三名の失業者がうようよしている。ふえた三百の就労ワクは同市山田町上山田字余木田地内の常磐綜合開発鮫川ダムに通ずる資材運搬道路（巾六米、延長四キロ）と下山田地内の深山田農道（巾四米、延長二キロ）新設工事にふり向けられるワクの拡張は六月一日にさかのぼつて行われるので今月はアブレ日数がへることになり日雇労務者の喜びは大きい。

なおおくればせながら平市でも日曹赤井炭鉱の失業者救済の工事を起すよう県当局に陳情することになつた。

好間に五十ふえる

勿来市の就労ワク拡張と同時に好間村にも五十のワクがふえ上好間地内の井田木川砂防工事に四十名好間川河川改修工事に十名をふやした。

アメリカ商業美術展

磐陽観光美術人会ではユネスコ本部の協力を得て次の日程で我国初のアメリカ商業美術展を開くことになつた。この美術展にはアメリカ一流の広告デザイナーの作による商業ポスター五十点とウインドウー写真六十点が出品される予定で当地方の商業美術に及ぼす影響が多いものと期待されている。

▽平公会堂日本間＝七、八、九日
△常磐市湯本公民館＝十、十一日
▽磐城市公民館＝十三、十四日。

貯炭ふえる

夏場を迎えて常磐炭鉱のヤマ元貯炭は五月末で五萬二千十七トンに達した。貯炭量は内郷、磐崎、鹿島、湯本の順で暑さを迎えて自然発火が心配されている。

平夏まつりのポスター

平市観光課では夏まつりを大々的に宣伝するため八百枚のポスターをつくるが、六日平市道匠小路の新南宗画家石井勝雲人が描いた七夕飾りに盆やぐらとじゃんがら踊りをあしらつた原画ができ上つたなお入場料は無料。

切れ話
回れ右前へ進め

田町秀也

ひとりでおかしたまちがいは、そのひとの気のもちようできれいに精算されるが、二人でおかしたまちがいは、そうはゆかない。まして男女のおかしたまちがいに至つては殊更であるーと、しみじみいつた人がある。

もうよそう、よそうよそうと思えどもよせば他人の花となる。

顔見りやボン悩にひかされてまたも、痛める胸のうち

とお古い歌の文句ではないが、まちがいと知りながら清算の歩調がとかく、ずれがちなもの。ああだこうだと切れるための切れ話がかさなつて却つて深みへの躓石になるから

きれいさつぱりと別れましようと盃を、さすはさしたが返されて、受けたときにはしみじみとこれが酒やら涙やら

などと、思いはつのるばかり。だから、切れ話というものは、二・二六の青年将校ではないが「問答無用」とバツサリ切つて、回れ右ツ、前へ進めツと、とつとと行つてしまうこと。ーところが、その切れツぷりが気に入つたなどと追ツかけ、呼びもどされて、うれしくなつたなどという例もないわけではない。

最近商店街のダンナたちが、みんな、かげの人をもつているという話をきくが、税金攻勢と不況打開に、心身をすりへらす苦労を忘れるレクリエーションとして、分相応のおたのしみは健康と若がえりのため大いに結構だが、愛とかコイとかいうものはおたがいにフエアプレイでゆかないと却つて精神消耗の根源となることが多い。レクリエーションというものはハイキング、ピクニツク程度を最もよしとするもので紫雲丸に乗つて修学旅行に出かけるほど遠走りする答無用」とバツサリ切つて、回れ右ツ、前へ進めツと、とつとと行つてしまうこと。ーところが、その切れツぷりが気に入つたなどと追ツかけ、呼びもどされて、うれしくなつたなどという例もないわけではない。

最近商店街のダンナたちが、みんな、かげの人をもつているという話をきくが、税金攻勢と不況打開に、心身をすりへらす苦労を忘れるレクリエーションとして、分相応のおたのしみは健康と若がえりのため大いに結構だが、愛とかコイとかいうものはおたがいにフエアプレイでゆかないと却つて精神消耗の根源となることが多い。レクリエーションというものはハイキング、ピクニツク程度を最もよしとするもので紫雲丸に乗つて修学旅行に出かけるほど遠走りする

別府の女

みよし
荒井政江

旅の思い出

どんな行きとどいた旅館に泊つても気転のきかない女中さんの番に当るとその日一日がユウウツになる。料理屋なら面白くなければすぐ出て来れるが旅館は不愉快とわかつても洋服に着替えて宿の取りなおしというわけにもゆかない。イヤでも応でもその旅館で一夜を明かさねばならぬ。この間、別府に泊つたがそこで会つた女中さんが、目からハナにぬけるような気転もの。立居ふるまいから、世間話に至るまで旅のくつろぎをやわらかく、温かく十年の知己のようななつかしさ、親しさをこめたもてなしだつた。ことに男客のために、旅の疲れを慰めるシャレた一口ばなしなどをちゃんと心得ていてイヤ味ない座興をしてくれるなど至れりつくせりの気の配りにはホトホト感心させられた。

土井博士の謠曲看護婦さん悲鳴

○…常磐炭鉱磐崎病院の土井博士好きこそものの上手なれで謠曲はなかなか上手、そこでときおり看護婦さんたちを一堂にあつめてうなりだすためまるで落語の「義太夫」長屋のやうでこのごろでは看護婦さんたちも食傷気味でほとほとヘイコウしているとか、それでも結婚式のとき足がしびれるということを聞いている独身の看護婦さんたち「結婚式のために」などと切ない申訳をいつているとか

中味はベッ

○…常磐市役所の鈴木君「タバコ一本くれ」といわれモソモソしていたがこれは不思議、新しいピースの箱の中から新生がとびだした「なんだこりや」と大井川君にニラまれた鈴木君「外出用だ」といつたが「だつて今のように一本頂けませんかときたら困るぞろう」とつつこまれ「そんなヤツほんとにひつぱたきたくなるよ、人の気も知らないで」

定規で本読み

○…常磐市の図書館で「平凡」をみていた女の中学生二人「あら津島恵子」「これ岸恵子よ」などと一しきり女優の話に花を咲かせていたが「いい顔してるわね　この顔、八等身じやない」と一人がいつたことから「じや定規でハカつみる」ということになりコツコツメモリをつけ始めたのには本読みにきていた青年たちも目をパチクリ

靴にはソコがあるか

○…「靴やです」と入つてきた靴屋をつかまえ内郷市福祉事務所の永山次長「こりやいい靴だ、しかしどうだい裏はあるんだろうな」には靴屋さん「御冗談でしよう、ウラのない、クツなんてありますか」とあきれたがなみいる吏員たちも苦笑しながら「うちのオヤジときどきヘンなこというんでアタマへんてこになるよ」

長のきらいな常磐署次席さん

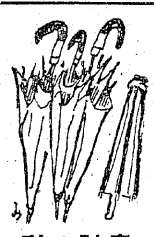
○…「ヤー」と元気よくアイサツして市役所の二階にストトントンとあがつていつた常磐署の鈴木次席、上つていつた思つたら直ぐストトンと戻つてきて「なんじやい二階は長のつくヒトばかりじやないか、わしや長はきらいじや」とヤブから棒「常任委員長会です」と吏員にいわれ次席さん「ボクは次席じやから、どうもヒケメ感じていかん、それになんだか商売のせいか、うつかり入つてゆくと公務執行妨害じやなんていわれそうで」これには吏員たちクスクス笑つて「そりや被害妄想というもので暑くなりますから時節柄お気をつけあそばせ」

他人はイヤですわ

○…切角買つた金魚が一匹一匹死んでゆき、たつた一匹残つたので博愛主義の常磐署捜索課の内勤さんたち「一人じやさびしかろう」とフナなどをとつてきて「友だちだよ」といれてやつたが、金魚一匹にフナどもが六匹、そのフナどもがまたあらくれなので金魚はいためつけられ前より一そうさびしそう、それをみた内勤さん「こりやいかん、余計むごいマネをした」と、くやんでいる。

ありやりや、白ランの歌

○…めんこい子どもらが一杯いる幼稚園から突然「白蘭の歌」がきこえてきた。常磐市まこと幼稚園「白蘭の歌」といえば李香蘭が長谷川一夫と共演して一世を風びした「支那の夜」の主題歌「朝つぱらから何でしよう」と公民館の職員はびつくりしたがきつとこのごろあつたかくなつたので保母さんたちどうかしたのかもしれませんと、いつている。



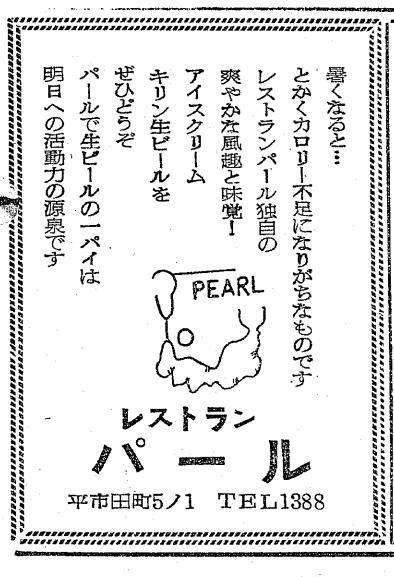
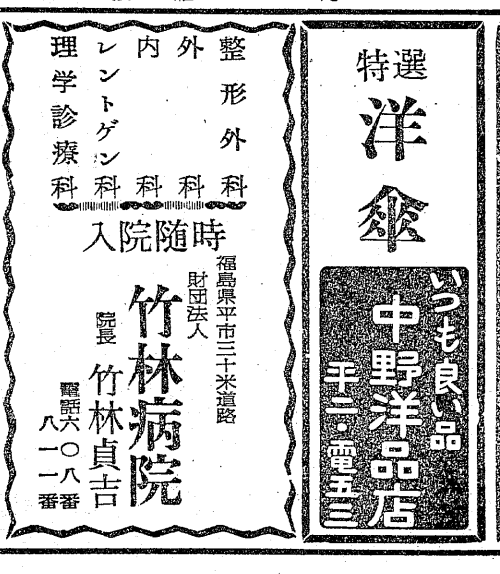
私の読書
娘の縁談

平労基署　水野浩明

いま泡朝日新聞に三ツの小説が連載されていた。林房雄の「娘の縁談」もその一ツであるが、特にこれは二ツにくらべて内容が大衆向きであり、文章がやさしく軽いユーモアが連発されているので誰でも親しみやすいのが特徴である。あらすじを簡単にいえば、新劇の卵役者、桑千栄子さんの所に田舎から幼な友達の小森君が公用で上京する。千栄子さんは、あんな田舎者が、しぶしぶ出迎えると、あまりにも立派になつた小森君を見て、びつくりする。小森君は九州男子で、その上空手の名人であるが、東京に着いた途端、千栄子さんは「君はあいかわらずチビですね」といわれ大ふんがい、けれどもだんだん小森君を好きになる。一方、千栄子さんと同居している友子さんもやつぱり幼な友達の今はやくざになつている美男子の島本君を発見して、恋の花が咲く、という甘い話であるが、この中で縁談狂で仲人役を五十回の記録を持つ三橋の叔母や色気狂いのマダムが島本君に手を出したり、また千栄子さんの田舎のガンコおばあちゃんがサギ師にかゝつて自分の持山にウラニユムが出ると信じこんで上京して来たり東京駅で座りこんだり珍談が多い。

こうした内容を作者は変に気取らず書いているのがよい。清水昆の挿絵も仲々センスに富んで良く場面をとらいている。難をいえば作者の思想が何等出ていないということだが作者も充分承知の上であろうし、そう難かしく考える必要はないだろう。

読んだあとは何も残らぬが茶をすりながらニヤニヤして読めるので肩がこらない。

社員募集
男女二十五歳以上
自筆履歴書持参
面接　午前九時半ー正午まで
信和商事株式会社
平市新川町　電（平）一二八八

性病
皮膚病科
平市古鍛冶町（県社下）
矢吹医院
電話一、一九三番